

# INSIDE

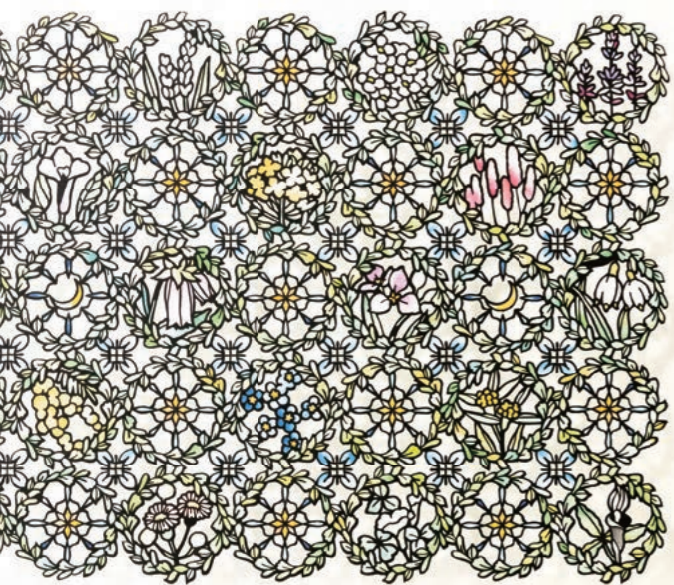
[繋ぐ]

彩る Special Issue:

## 彩色した和紙を透過する 幻想的な光の切り絵

拓く サステナブルな天然繊維の紙糸  
王子ファイバーの「OJO+」

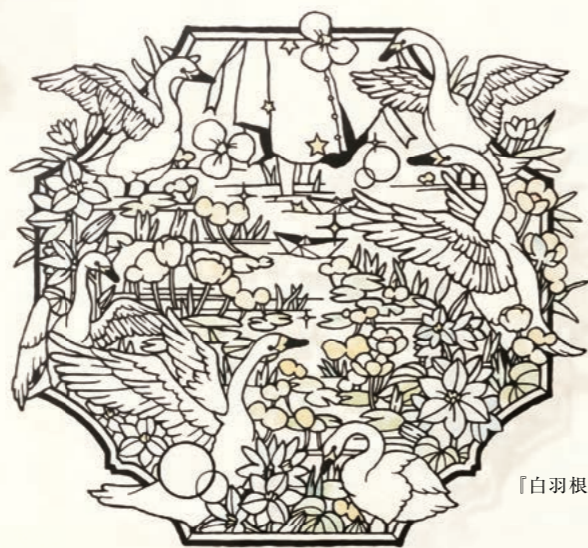
先どる 無形文化財「西ノ内和紙」を使った  
エコで超軽量のマネキン「Waltz」



『星月草花(ほしつきさばな)』



『耀いる徒花(ひかりいるあだばな)』



『白羽根を挿り(しらほねをゆり)』



『子葉うぶ窓辺(しようぶまどべ)』



『往昔の没む(おうせきのしずむ)』



『紙片を翳して(しへんをかざして)』

## 彩色した和紙を透過する 幻想的な光の切り絵

物語を想起させるドラマチックな構図や手染めの和紙を透過するニュアンスのある美しい光。切り絵作家・大橋 忍さんが生み出す作品は、太さ0.5ミリにも満たない線にカットする高度な技術だけでなく、その叙情的な世界観と幻想的な美しさから国内外のファンを魅了し続けています。他の切り絵とは一線を画す大橋さんの作品はどのように生まれるのか、その創作活動の源泉に迫ります。

国際紙パルプ商事(KPP)が発行するTSUNAGU(繋ぐ)は“紙の魅力再発見”をテーマに、紙と文化・紙と事業・紙と人を「繋ぐ」広報誌です。

**彩る** ..... P01

彩色した和紙を透過する  
幻想的な光の切り絵

**広げる** ..... P06

独自に選んだ“紙もの”を集めた  
「PAPIER LABO. (パピエラボ)」

**先どる** ..... P07

無形文化財「西ノ内和紙」を使った  
エコで超軽量のマネキン「Waltz」

**拓く** ..... P09

サステナブルな天然繊維の紙糸  
王子ファイバーの「OJO+」ほか

**深める** ..... P12

C.W.ニコル氏の遺志を伝える  
展示会の模様をレポート

**伝える** ..... P13

青春映画の名手から届いた  
敬意の込められた絵はがき

**訪ねる** ..... P15

新たなコミュニケーションを生み出す  
注目のブックカフェにフォーカス

**作る** ..... 付録

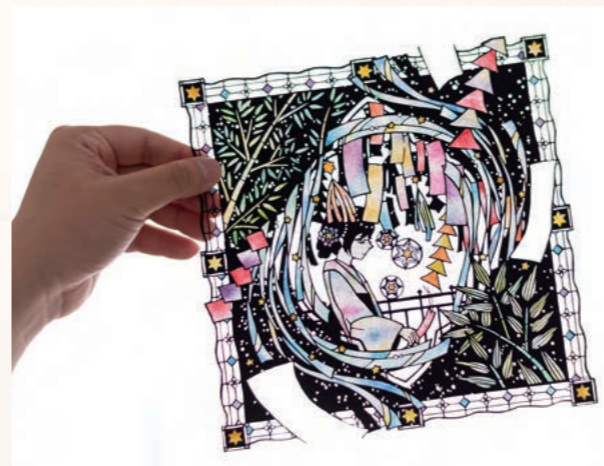
不在の理由がひと目でわかる  
「お知らせPOP」



切り絵アーティスト  
大橋 忍さん SHINOBU OHASHI

福島県出身。文星芸術大学入学直後から黒い画用紙と彩色した和紙を使った切り絵の創作をスタートし、SNSや展示会などを通してオリジナル作品を発表。卒業後、会社員経験を経て2015年に初の書き下ろし図案集『美しい切り絵。』（エムディエヌコーポレーション）を出版。それを機に独自の世界観を表現した作品が話題となり、多くの企業広告に起用される。以後、自身の作品をモチーフにしたグッズ製作や著書の発刊、コミックやアニメ作品のタイトルロゴデザインを手がけるなど多方面で活躍中。

HP: <http://ohashi-shinobu.com>



## 1枚の紙のなかに凝縮されたショートストーリーと和紙を透過する色彩豊かな光によるペーパーアート

刃厚の薄いデザインナイフを使って図案の輪郭を残すように紙を切り、線の途切れのない1枚の絵画に仕上げていく。ときには力強く、ときに繊細なラインで表現する切り絵は、ミニマムな道具ではじめられる人気のペーパーアート。一般的には黒い紙を使って白と黒の二色で表現したモノクロ作品が主流ですが、鮮やかな色彩を施した多色作品や紙以外の素材を使ったもの、何枚もの紙を重ねた立体的なものなど、つくり手の表現の幅も広がっています。

大橋忍さんは、独特の色使いと繊細な線で描く美しい作品で注目を集める人気の切り絵作家です。彼女の作品はSNSをはじめとする各メディアに取り上げられたことで人気となり、二十四節気<sup>にじゅうしせつき</sup>をテーマにした季節の花や植物、動物を用いて描いた図案が海外メディアでも広く紹介されるなど、世界での活躍もますます期待されています。

大橋さんの作品に共通する魅力のひとつが、物語のワンシーンを切り取ったようなリリカルな世界観にあります。「私の場合、作品のテーマになる『言葉』を決めて、そこから色や構図のイメージをつくっていくんです」。その言葉を裏付けるように、大橋さんが生み出す作品には、『あかりに雪ぐ』、

「幾羽めぐる」、<sup>いくば</sup>「花緑青抱く」といった文芸的表現がタイトルに使われています。「小説を読んだり音楽を聴いたりして、自分の中に湧き上がる感情が作品のテーマになることが多いですね。それが自分自身の記憶とミックスされて、イメージが膨らんでいく感じです」と大橋さん。また、思いがけないモチーフや構図、独創的な色使いが生まれる発想にも、意外な背景があるそうです。「怪しいと思われるかもしれませんが、<sup>おもしろ</sup>「共感覚」<sup>きょうかく</sup>ってご存じですか？これは、文字や数字に色が付いて見えたり、音を聞くと色が結びついて見えたりする脳の現象で、いろんなタイプがあるそうです。私の場合は、『あ』は赤色、『い』なら水色と白、『う』ならピンクというように、文字や数字を見ると、『色』という追加情報が自動的に頭に浮かぶ感覚です。小説を読んだり音楽を聴いたりすると、色や線、構図が自然と頭に浮かぶので、それを作品に落とし込んでいく作業に近いですね。文字とリンクする『色』は、単語や文章など文字の組み合わせによって変わっていくため、そのニュアンスのある色彩は、作品ごとに異なるそうです。

※二十四節気……古代中国で考案された季節の指標。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもの。



細かい部分から切りはじめ、最後に外側の輪郭を切る。

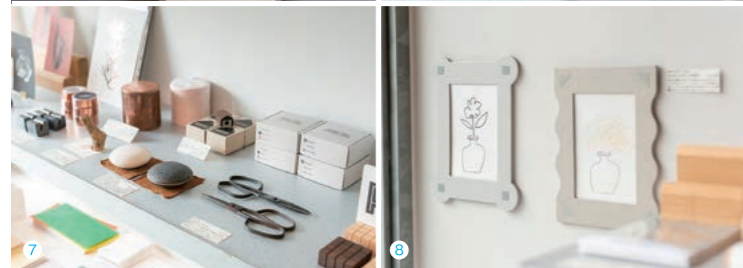


手染めした和紙を図案に沿って切り出す。



スケッチブックを使って作品のイメージを図案化。

独自の感性で選んだペーパープロダクツなど  
紙の多様性に触れることのできるこだわりのショップ



① ガラス張りのすっきりした外觀 ② 書くときにリングが邪魔にならない「RINGNOTE / RINGMEMO」  
③ 「HATAGUCHI COLLECTIVE」シリーズの封筒とカード。インドの繊維工場で廃棄される木綿を再利用してつくられたコットンペーパーを使用 ④ 天井が高く、ゆったりと商品を選ぶように設計された店内  
⑤ 畳の10分の1サイズにした「TATAMI MODULE NOTEBOOK」 ⑥ 山伏、美術作家として活躍する坂本大三郎さんの装画をモチーフにした「MOUNTAIN TRUMP」 ⑦ ペンやはさみ、収納ボックスなど、紙にまつわる商品も充実 ⑧ ポール紙製なので、両面テープでも貼ることのできる「POST CARD FRAME」  
※各商品は、パピエラボHPでも購入いただけます。

PAPIER LABO. (パピエラボ)

住所：東京都渋谷区神宮前1-1-1 #106  
TEL：03-5411-1696  
営業時間：12:00～18:00  
日・月曜定休  
HP：http://papierlabo.com/

東京・原宿駅竹下口から徒歩7分。「パピエラボ」は、「紙と紙にまつわること」をテーマに、独自の審美眼で選んだ国内外の雑貨や文具、自らプロデュースしたオリジナル商品を販売するショップです。2007年の開店以来、感性を刺激する商品を求めるクリエイターを中心に、「もの」にこだわる人々が訪れる店として知られています。

「これは売れそうだから、という基準で商品を仕入れたことはありません」と話すのは、店主であり、オリジナル商品のデザイン、ディレクションを手がける江藤公昭さん。店内を見渡すと、他では見たことのないデザインや仕様の紙製アイテム、作家性の強い工芸品のような雑貨が整然と並んでいます。「自分が気に入るものをしっかりと見極めて選ぶようになっています。作り手のものづくりに対する姿勢や人間性、感性など、ものづくりの根底の部分で共感できるものをセレクトしています」。

またパピエラボでは、名刺やショップカード、DMなどのオーダーメイド印刷も受け付けています。「印刷物全般の窓口として、紙のセレクトからデザイン、印刷・加工まで、その魅力を引き出す方法を提案しています。例えば、名刺をつくりたいと思っても、一般の方にとって印刷所は敷居が高く感じるもの。だからこそ、両者をつなぐ仲介役になればと思っています」。なかでも高い評判を得ているのが、活版による印刷物です。「凹凸のある質感やインクの滲みなど、活版印刷ならではの物質的な面白さに惹かれますね」と江藤さんは話します。

最後に、今後の展開について伺うと、「正直、あまり考えていません(笑)。ただ、自分たちが良いと思うものを自分たちらしい方法で作り、発信していきたいと思っています。だからといって、『これはいいものですよ』というような売り方はしません。どんな商品でも、ある人にとって良いものかもしれないけど、別の人にとっては役に立たないものかもしれない。お客さまが自由な発想で選び、使ってもらえるのが一番だと思っています」。決して気負わず、自分たちの感覚を大切にすることが、多くの人に支持される理由に違いありません。



大橋さんは、文字や音楽から着想を得たデザインをパソコンに取り込んでレイアウトを調整。図案をカラージュした下絵を白い紙に印刷したのち、黒い画用紙を重ねてモチーフや文字の輪郭線に沿ってデザインナイフを走らせます。「黒い画用紙は、『ミューズ ハイブラック』という紙。艶消しの黒い紙ですが切ったあとの毛羽が残りにくく、それでいてしっかりと強度があるので長く愛用しています」とのこと。木々の小さな葉などの細かいパーツや滑らかにカーブする曲線など、大橋さんはまるでペンで描くように切り取っていきます。

大橋さんの切り絵作品づくりは次の工程へ。不要な部分をそぎ落とし、各パーツの輪郭線だけとなった画用紙の裏から、色味に「クリア」のある和紙を貼っていきます。「透過する光の繊細な美しさを表現するために、手染めの和紙を使っています。高校までは既製の和紙を使っていましたが、大学の教授のアドバイスを受けて自分で染めた和紙を使うようになりました。いろいろと試しましたが、水に濡らしても強度があり、乾かしてもよれない若狭和紙を採用しています。染色したときの色の広がり具合が気に入っています」。ステンドグラスのような美しさはもちろん、作品からにじみ出るやさしさや抒情的な陰りなど、独特の世界観を表現するうえで和紙が重要な役割を担っています。

意外にも、「幼い頃は、お絵描きや図画工作があまり好きではなかった」という大橋さん。宿題で描いた植物の絵がほめられたことがきっかけで絵の楽しさに目覚めたものの、中学生のときには他の美術部員の実力を見て自信を無くした時期もあったそうです。「絵がそれほど上手くないことを自覚していたので、画力の足らなさを補える表現方法として切り絵を思い付きました。高校、大学と切り絵を続けていくなかで転機となったのは、『デザインフェスタ』という展示会で出版社の編集者に声を掛けていただいたこと。図案集を出版したことで、さまざまな方とのご縁をいただくようになりました」。その後、毎年1冊のペースで出版される著書はいずれもベストセラーに。大橋さんの作品が国内外の企業広告に多数採用されたほか、テレビ放映された人気アニメ『不滅のあなたへ』のタイトルロゴ、人気コミック『のーぶるぶれむ家族』の表紙に使用された文字の切り絵など、枚挙にいとまがないほど作品提供やコラボレーションの依頼が殺到しています。



切り絵作品をモチーフにしたさまざまなオリジナルグッズを販売。HP：https://suzuri.jp/shinobu\_kirie



ポージング表現も豊富に研究され、伸縮性のある衣服の展示にも活用できる。※写真はプロトタイプ。



片手で持ち上げられるほど軽量なので、運搬や展示する衣服の着せ替えも容易。

## 無形文化財「西ノ内和紙」を使った エコで超軽量のマネキン「Waltz (ワルツ)」

ショーウィンドウや店頭において、衣服やアクセサリの展示に使用されるマネキン人形。着用時のイメージを伝えるだけでなく、店舗の雰囲気づくりに欠かせないディスプレイツールですが、新たに業界の常識を変える画期的な製品が登場したと話題を呼んでいます。開発したのは、マネキン人形のメーカーとして80年以上の歴史を持つ株式会社トーマネ。同社が製造する「Waltz」は、無形文化財である西ノ内和紙を素材とすることで大幅な軽量化を実現。また処分する際の廃棄プラスチック量を減らせるなど地球環境にやさしい製品として注目されています。日本伝統の和紙を使ったマネキン人形「Waltz」の特長や開発に至る経緯についてご紹介します。

### ——「Waltz」を開発するまでの経緯を教えてください。

1958年頃から現在に至るまで変わることなく、マネキン人形の製造にはFRP(強化プラスチック)が使用されています。ただし、日本は世界で唯一、マネキン人形を含めたディスプレイ商品をレンタルするシステムが確立されており、廃棄時にもFRP部分はセメント製造時の原燃材料として循環、金属部分もマテリアルリサイクルされるなど、100%資源循環されています。一方で、今年4月にプラスチック資源循環(促進)法が施行されたことを受け、これまでとは異なる素材でマネキン人形をつくる必要があると感じていました。みなさまに支えられてきた企業として、これまでの感謝の気持ちを表現する方法を模索するなかで、「Waltz」の開発がスタートしました。

### ——新たな素材として、「西ノ内和紙」に着目した理由は何ですか？

素材を選ぶうえで重視したのは、①誰もが身近に感じる国産の素材 ②古くから当社の工場・倉庫のある茨城県への地域貢献につながるもの ③労働環境や自然環境にやさしい製法、という3点でした。無形文化財に登録される「西ノ内和紙」は、地元的那須楮(こうぞ)を100%使用した茨城県常陸大宮市で生産される和紙であり、350年の歴史があります。水に強く破れにくい、繊維が長いことから、マネキン人形の造形に使用できそうだと考えました。

### ——製品化までにどのような苦労がありましたか？

何体ものプロトタイプ(試作品)を製作しながら、湿度や乾燥の影響を調べる紙片検査を実施。さらに強度を出すために、和紙と接着剤の相性などをデータ化し、和紙の貼り方や割り方、工程の時間短縮などの研究を続けています。

### ——「Waltz」の特長について教えてください。

従来のFRP製の婦人マネキン単体が約8kgなのに対し、「Waltz」は約1.6kgと当社比約20%の軽量化に成功しました。これにより輸送コスト削減や組み立て時にかかる重労働の軽減を実現することができます。また、成形した「Waltz」は再び和紙に戻すことができるうえ、製造の過程で有機溶剤を一切使用せず研磨による粉塵が発生しないため、クリーンな空気と安全な労働環境を確保できるなどの利点があります。さらに、「Waltz」の普及を通して、無形文化財である「西ノ内和紙」の文化継承や魅力をアピールするきっかけになればとの思いも込められています。

### ——今後の抱負をお聞かせください。

和紙を貼る際に必要な和紙加工の特許も取得しましたので、マネキン以外の造形物の製作にも応用していきたいと考えています。

Waltz



ブルドッグ型



ネコ型

※四肢にマグネットが組み込まれているので、磁石の付く壁面であれば付着させることも。また、カラーリングもできるため、本物そっくりに仕上げることもできます。

### 「Waltz (ワルツ)」の製造工程

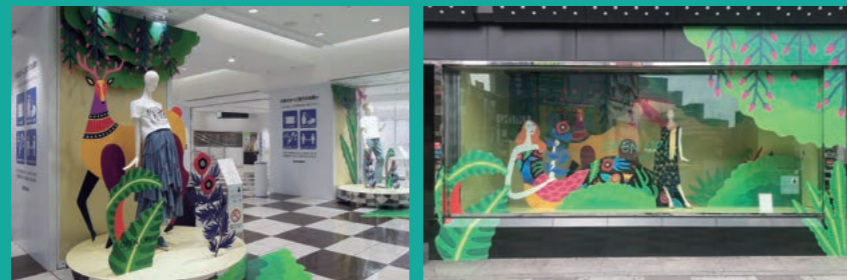
小さな和紙を何層にも重ねるように型に貼り込んだのち、表面の凸凹がなくなるまで自作の工具を使ってしごいていきます。表面が滑らかな状態になったら各パーツのジョイントを接続して完成。乾燥に要する時間も含めると、1体につき約2週間をかけて製造しています。



ジョイント部分はマグネットで固定できるなど、ディスプレイに場所を取らないための工夫も。

### 「Waltz (ワルツ)」に関する お問合せ

製造・販売：株式会社トーマネ  
担当：社長室 岩下沢子  
住所：東京都中央区銀座1-11-1 東京橋ビル  
TEL：03-6367-9860  
MAIL：sawako.iwashita@tomane.co.jp  
HP：https://www.tomane.co.jp

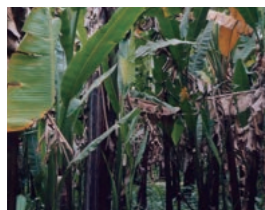


西武池袋本店でのディスプレイの様子。

PICK UP  
POINT

オーガニック100%の天然繊維からつくられる  
環境に優しい「かみのいと OJO+」の特長

POINT 2 先端の設備と新技術をミックス



1.栽培

マニラ麻は約3年で高さは5~6m、太さは20~40cmまで生育。



2.採織(さいせん)

茎を根元から伐採し、葉鞘部分を裂いて繊維を取り出す。



3.パルプ

巨大な球体の釜を使ってマニラ麻を蒸解し、パルプをつくる。



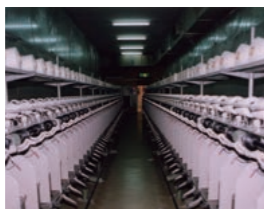
4.抄紙(しょうし)

パルプを抄紙機にかけ、糸の原紙となる紙をつくる。



5.スリット

和紙系原紙を1~4ミリに細く裁断し、テープ状に加工する。



6.捻糸(ねんし)

スリットされたテープに撚りをかけ、「かみのいと OJO+」が完成。

POINT 1 原料にマニラ麻を使用

原料のマニラ麻は、最も品質が良いとされるエクアドル産を使用。3年以上農薬を使用しないことなど厳しい条件をクリアし、オーガニック認証を取得しています。成長過程としては苗から約3年で高さ5~6メートル、太さ20~40センチに達するなど生育が早い。植物の乱伐につながることはありません。また、成長の過程において二酸化炭素を吸収するため温室効果ガスの削減に貢献しています。焼却しても有害物質がほとんど発生せず、微生物の働きによって自然環境下で生分解されます。最終的に水と二酸化炭素になって自然界へ循環していきます。



POINT 3 数多くの特長を兼備



- ・軽量で丈夫
- ・ハリとコシがあり、さらとした肌触り
- ・繊維と染料の相性が良く染色性が高い
- ・毛羽立ちが少ない
- ・通気性が高く速乾性がある
- ・天然の消臭性と抗菌作用
- ・保温・吸湿性が高い
- ・紫外線カット
- ・水に極めて強く洗濯可能

POINT 4 幅広い製品に採用

シャツやパンツ、浴衣や靴下、ハンカチなどの衣類をはじめ、バッグやシューズ、傘、帽子などアパレル全般で広く採用されています。また、家具や壁紙、オフィスパーテーションなどのインテリア、人工芝やパターマットなど、ファッションや雑貨、生活資材など多様な用途で需要が拡大しています。



持続可能な社会実現に向けた、KPPグループのあくなき挑戦をご紹介します

# KPP Sustainable Times

限りある資源やエネルギーを循環・再生させることは、現代社会において極めて重要な課題となっています。当社は経営理念である「循環型社会の実現」に基づき、事業を通してサステナブルな社会づくりに貢献し、企業価値の向上を図っています。

topics  
01 サステナブルな天然繊維として注目を集める  
「かみのいと OJO+」



プラスチックごみ排出抑制のほか、生産からリサイクル、廃棄に至るまでのすべてのプロセスにおいて、環境負荷に考慮したサステナブルな取り組みが急速に広がっています。なかでも環境負荷の低い素材として改めて注目されているのが「紙」です。

今年4月に当社のグループ企業となった王子ファイバー株式会社は、天然の紙系繊維「かみのいと OJO+(オージョ)」を製造しています。原料となるマニラ麻を釜で蒸して繊維を取り出し、その繊維から薄くて強靱な巻紙を製造。それを細長くスリットしてテープ状にしたのち、撚りをかけて糸にしていきます(左ページPOINT2参照)。こうしてできた紙系「OJO+」は、他の繊維と比べて軽く毛羽立ちが少ないうえ、紙の弱点とされる耐水性があるため繰り返し水洗いも可能。また、1本1本の繊維が多孔質のため軽く、通気性や速乾性があり、夏は涼しく冬は温かいという特性があります。さらとした肌触りはアパレル業界を中心に広く注目され、衣服、バッグ、シューズをはじめ、家具や壁紙などのインテリア、シーツなどのベッドリネンなど、さまざまな製品の素材として採用されています。

植物を原料とする「OJO+」は二酸化炭素排出量を低く抑えられるうえ、微生物の働きによって自然環境下で分解されるなど、持続可能な低炭素社会の実現に貢献する素材としてますます期待が高まっています。当社グループでは、総合循環型ビジネスモデルの構築を推進するとともに、今後も「OJO+」をはじめとする環境負荷軽減製品(グリーンプロダクト)の普及に努めてまいります。

※多孔質…細かい穴(孔)の空いた構造になっている性質のこと。



メーカーからのメッセージをOJO+の紙に印刷し、それを紙系にして生地に織り込んだデニム。メッセージを印刷した紙は、商品タグにも使用されている。

MESSAGE



王子ファイバー株式会社 代表取締役社長

白石 弘之 さん

「かみのいと OJO+」は、日本伝統の和紙づくりの原理と最先端製紙技術を組み合わせることによって生まれた、究極のエコロジー製品です。紙本来の特性を最大限に活用した「OJO+」は、健康への有害性がなく、地球環境負荷軽減にも貢献できる、次世代のグローバルスタンダードになりうる有望な素材だと確信しております。これまで国内外のファッションブランドを中心に、さまざまな用途で幅広く採用いただいています。現在は「OJO+」を使った人工芝を屋内外のコートに導入することを視野に、さらなる改良を進めています。次の世代に少しでも住みやすい地球環境を残すために、この「OJO+」を世界中に普及させていきたいと思っています。

王子ファイバー株式会社

所在地 : 東京都中央区銀座5-12-8  
王子ホールディングス1号館7F  
代表取締役社長 : 白石 弘之  
設立年月日 : 2002年11月1日  
TEL : 03-5550-3003  
FAX : 03-5550-0621

ホームページはこちらから  
HP : www.ojifiber.co.jp/



INFORMATION

「かみのいと OJO+」は10月に東京で開催される展示会に出品する予定です。お手に取ってご覧いただける機会となっております。ぜひOJO+を使用した製品をご体感ください。

「第2回 サステナブル ファッション EXPO 秋展」

会期: 2022年10月18日(火)~20日(木)  
会場: 東京ビッグサイト  
(東京都江東区有明3-11-1)

詳細はQRを  
チェック▶



※来場には招待券が必要です。展示会HPよりご請求ください。  
※本展は商談展のため、一般の方、18歳未満の方のご入場はできません。

## ▶ 当社会長兼CEOの田辺が C.W.ニコル氏の遺志を伝える展示会を訪問

環境保全に向けた循環型ビジネスを推進する当社は、C.W.ニコル氏の「日本本来の美しい自然環境を取り戻したい」という思いに賛同し、2015年からC.W.ニコル・アフンの森財団のオフィシャルスポンサーとしてその活動を支援しています。同財団には、宮城県東松島市にある「森の学校」での和紙漉き体験授業や、KPP総合展示会で行ったC.W.ニコル氏の講演など、当社とステークホルダーのみさなまをつなぐ架け橋として、さまざまなご協力をいただいております。

今年4月・5月の2回にわたり、新宿伊勢丹と立川GREEN SPRINGSを会場と

して、「『森はよみがえる』C.W.ニコルが遺した日本の未来展」が開催されました。本展示会にはこれまでの感謝の思いを込めて、当社は特別協賛という形で参画いたしました。当社会長兼CEOの田辺が両会場を訪問いたしましたので、会場の様子と共にご紹介します。

C.W.ニコル氏がめざしていた「100年先の未来」に美しい森を残すことができるよう、当社は引き続き同財団の活動を支援してまいります。

### 「『森はよみがえる』C.W.ニコルが遺した日本の未来展」

日本の自然に魅せられたC.W.ニコル氏が自然破壊の進む現状を憂い、36年の歳月をかけて再生した「アフンの森」とその軌跡を紹介する展示会です。「森はよみがえる」こと、人が思い描き行動することで「未来は変えられる」ことをテーマに、60種以上の絶滅危惧種が生育するようになった「アフンの森」の様子や、同氏が遺した言葉を中心に紹介しています。



### 新宿伊勢丹会場

4/13(水)～26(火) 1F プロモーションスペース

新宿伊勢丹の入り口近くのスペースで開催されました。周囲には有名なファッションブランドが立ち並ぶ中、C.W.ニコル氏の森を守るという意志のこもった言葉と展示が来場者を迎えており、この一角は異彩を放っていました。当社がC.W.ニコル氏と出会ってから約7年が経ちますが、林野庁への公開質問状<sup>※1</sup>を取り上げた記事やアフンの森づくりの詳細な過程など、初めて出会う情報が盛りだくさんでした。

※1. 1986年にC.W.ニコル氏は天然林の伐採に抗議して、林野庁の長官に公開質問状を送りました。



### 立川GREEN SPRINGS会場

5/18(水)～26(木) 2F ATRIUM

5月の国際生物多様性の日<sup>※2</sup>にちなみ、開催されました。同会場は昭和記念公園エリアに面しており、緑豊かな自然とガラス張りの建物がシームレスにつながっています。入口には5センスプロジェクト<sup>※3</sup>に参加し、森ならではのアクティビティを楽しむ子どもたちの写真が展示されていました。

※2. 国連が生物多様性問題に関する普及と啓発を目的として定めた国際デー。

※3. C.W.ニコル・アフンの森財団が主催する、心に傷を負った子どもたちを森に招待し、アフンの森で五感を使った自然体験を通して行われる心のケア。



## news 02

## バイオマス発電所の収益最大化を支援する 「BMecomo」の導入事例と代表的な機能をご紹介します



「BMecomo」は、バイオマス発電所から得られるあらゆるデータを収集・解析し最新テクノロジーの活用と徹底的な「見える化」により、日々運転を続けるバイオマス発電所の収益最大化を支援するサービスです。今号では、実際に「BMecomo」を採用いただいているバイオマスパワーテクノロジー株式会社、三重エネウッド株式会社へ提供しているサービス内容の詳細についてご紹介します。

BMecomoの代表的な機能	
データの一元管理	過去の運転履歴や設備データなどのプラントに関するすべてのデータを一元管理します。
システム統合	プラント制御システムや各種センサーデータなどのシステム統合を行います。
遠隔監視	いつでもどこからでもプラントの稼働状況を監視できる専用ダッシュボードを提供します。
アラート	ユーザーが任意でアラートの設定やトレンドグラフの作成を行うことができ、異常の兆候を関係者へ即時に通知します。
<b>PICK UP</b> 専用Mobileアプリ	巡回点検や作業指示、アラート情報を一括管理・操作できる専用アプリを提供します。
データ分析	さまざまな視点でデータ分析を行い、お客様のニーズに沿ったデータ分析、分析結果のフィードバックを行い、プラント運営を最適化します。
高度な設備管理	EAM(Enterprise Asset Management)に基づく高度な設備管理機能を提供し、設備管理を最適化します。
<b>PICK UP</b> センサーソリューション	必要なセンサーの選定・設置・データ収集・分析・フィードバックまでの一貫サービスを提供します。

PICK UP

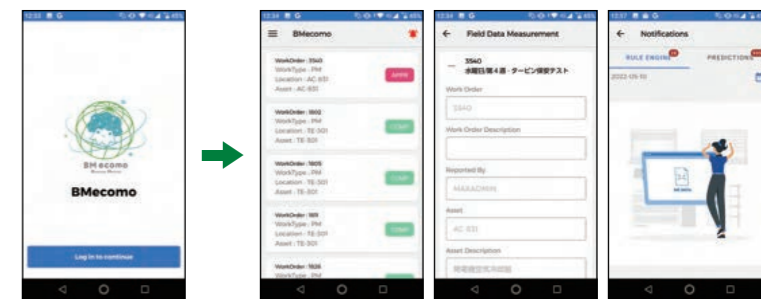
### 専用Mobileアプリ

・BMecomoの各機能はスマートフォンやタブレット端末から利用することができ、外出時の遠隔監視や現場作業情報の管理・登録などの業務を行う際にスマートフォンやタブレット端末を活用いただいております。

・これまではWebブラウザでBMecomoにアクセスし、各機能を利用いただいていましたが、作業性を向上させるために「BMecomo」の一部機能を搭載した専用Mobileアプリを開発しました。

・Mobileアプリでは作業要求の管理、現場での日常点検、異常アラートの管理といった保全業務を実施することができます。なかでも異常アラートをMobileアプリから通知することができるので、トラブル情報や作業要求を担当者へ迅速に通知することが可能です。

### ■ Mobileアプリ サンプル画像



PICK UP

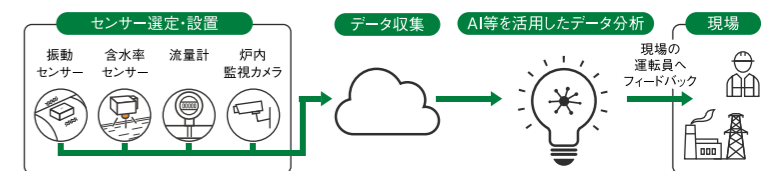
### センサーソリューション

・設備の稼働状況や状態を正しく把握することは戦略的な設備保全に不可欠な情報です。BMecomoのセンサーパッケージソリューションは各種センサーの選定・設置・データ収集・データ連携・分析・結果のフィードバックまで一貫したサービスを提供します。

・特にデータ収集からデータ連携、分析、結果のフィードバックに強みを持ち、自社独自の技術を活用しCBM<sup>※1</sup>、RBM<sup>※2</sup>といった高度な保全管理の実現を支援します。

※1.CBM(Condition Based Maintenance):設備の状態を監視し、状態に基づくメンテナンスを行う手法

※2.RBM(Risk Based Maintenance):設備が抱えるリスクを分析し、リスクレベルに応じたメンテナンスを行う手法



### 株式会社BMエコモ

所在地：東京都中央区明石町6-24  
お問合せ：03-3542-9924  
(受付時間:月～金 / 9:00～17:00)

BMecomo特設サイトは  
こちらのQRコードからチェック!▶  
HP: <https://bmecomo.com/>



サービス紹介動画はこちら

「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第二十九回 恩地 日出夫

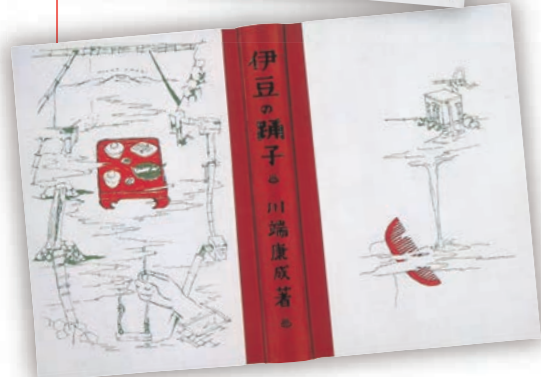
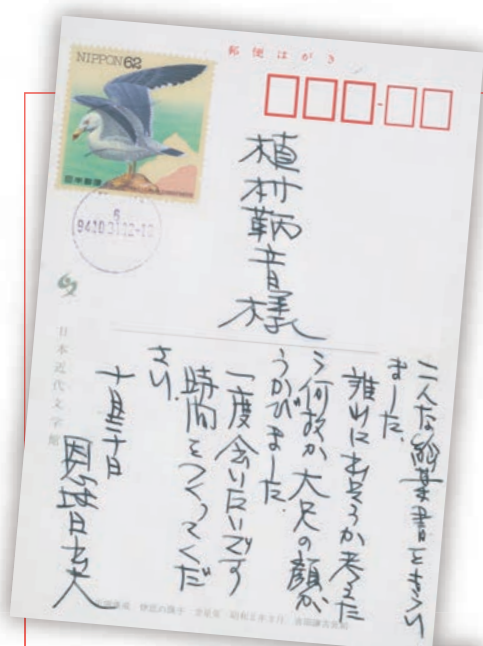
かれこれ半世紀近くつき合いのあった恩地日出夫さんが亡くなった。だれに紹介されたのだったか。当時わたしはテレビ東京の編成に籍を置き、「金曜スベシヤル」という番組のプランニングプロデューサーを兼ねていた。その関係で恩地さんとつき合いが始まったはずだが、とすれば「典子は、今」「ピルマの竖琴」など、たくさん映画をプロデュースした高橋松男さんに紹介してもらったのかもしれない。恩地さん、高橋さんとわたしは、しばしば食事を共にしながらテレビ番組の企画の打ち合わせをした。わたしは映画会社に二年間ほど勤務したことがあるせいか作家主義に拘り誰が演出するかを重視したが、知的で商業主義に迎合しない恩地監督はわたしの好みだった。恩地さんは慶應義塾大学を卒業後東宝に入社、「黒い画集 あるサラリーマンの証言」の堀川弘通監督の助監督を務め、二十七歳の若さで監督に昇進している。処女作が昭和三十六年の「若い狼」。夏木陽介、星由里子主演で日本のヌーベルバーグ作品と喧伝された。続いて翌年、団令子主演の「高校生と女教師・非情の青春」。両作とも「観念的」「難解」という評価を受け

たらしいが、わたしは観てはいない。恩地さんはどちらかといえば寡作家で、生涯の監督映画は15本。デビュー以後十年間はほぼ年に一本の頻度で作品を世に出しているが、代表作を問われれば、「あこがれ」「伊豆の踊子」「めぐりあい」といったところになるのだろう。「あこがれ」は昭和四十二年公開作品。複雑な家庭環境に育った若い男女が主人公の

きること自体が喜びだった。恩地さんとは幾度も打ち合わせを繰り返し、検事総長の公と私を追おうというところで意見が致したが、検察庁の撮影許可が下りなかった。本編を撮る機会が減ったせいか、作品リストを見ると、恩地さんは、昭和四十年代末から平成の初めにかけて、NTV「火曜日の女シリーズ」「傷だらけの天使」、ANB「土曜ワイド劇場」など、テレビドラマを精力的に制作している。「火曜日の女シリーズ」の留守中に九歳の二男が誘拐事件に巻き込まれ、平和だった家庭が崩壊に瀕する。妻役は岸田今日子だった。同年のギャラクシー賞期間選奨を受賞している。「傷だらけの天使」は翌昭和四十九年の作品だが、これは萩原健一と水谷豊共演の青春ドラマで人気を博した。

わたしの古巣、テレビ東京での実績を問われるとおおくはない。昭和六十三年にはアメリカのスペース・シャトル、チャレンジャー号の爆発事故で死んだ宇宙飛行士エリソン・鬼塚とその母を描いたドキュメンタリードラマ「宇宙飛行士エリソン・オツカと母」の制作がある。恩地さんお気に入りの作品で評価も高く、ギャラクシー賞の選奨を受賞した。わたしが編成を担当していた平成五年、他局が手出しをしない明治以降の文芸名作を主力派の演出家にドラマ化してもらおうと「日本名作ドラマ」というシリーズ枠を設けたが、その中で恩地さんには「伊豆の踊子」に再挑戦してもらった。よほど原作に惚れこまれていたのだろう。木村拓哉のドラマ初出演で、共演早勢美里。

言い忘れてしまったが、昭和五十五年十月から二年間、土曜日の夜テレビ東京で「独占!おとなの時間」という情報バラエティ番組の司会をされていた。知的で自然体の司会ぶりはなかなか評判がよかった。



恩地 日出夫



映画監督  
1933-2022

1933年、東京市（現世田谷区）生まれ。1955年、慶應義塾大学卒業後、助監督として東宝に入社。1961年に自身が脚本を手がけた映画「若い狼」で監督デビュー。「あこがれ」「伊豆の踊子」「めぐりあい」など若者の姿を瑞々しく描いた青春映画のほか、70年代には「傷だらけの天使」「人間の証明」といったテレビドラマの演出を手掛けるなど幅広く活躍。代表作に「生きてみたいもう一度 新宿バス放火事件」「四万十川」などがあり、「蕨野行」で日本映画批評家大賞 作品賞を受賞。2005年に旭日小綬章受章。2022年逝去。享年88歳。

純愛物語。原作・木下恵介、脚本・山田太一、青年を田村亮、少女を内藤洋子が演じている。監督が亡くなったあと劇場で観る機会に恵まれたが、無駄のないさわやかな青春映画だった。「伊豆の踊子」は言わずと知れた川端康成の同名小説の映画化だが、日本映画史で何本目になるのか。主人公の高校生を江原達怡が、旅の踊子を内藤洋子が演じている。「めぐりあい」は、そのまた翌年、昭和四十三年の公開作品である。戦後の高度成長期にある工業地帯川崎で、自動車工場で働く努と部品工場で働く典子が貧しいながら健気に生きる姿を描く。努を黒沢年雄、典子を酒井和歌子が演じている。

わたしが恩地さんの知己を得たのはたぶんその頃のことです。わたしはそれの本しか観ていないが、これらの青春映画が恩地さんの代表作に数えられ、評価も高く、ヒットしたことを考えると、恩地さんの本質は実はこのへんにあるのではないかと気がする。「金曜スベシヤル」という番組は、硬軟とりまぜたドキュメンタリーを中心にした番組だったが、演出には今村昌平、岡本喜八、熊井 啓、吉田喜重、佐藤純彌など二流の監督を起用した。時代は映画からテレビに移りつつあり、発表の場を失った映画監督がテレビで仕事をすることが増えた。「金曜スベシヤル」はその嚆矢といえるかもしれない。作品の出来はともかく、わたしには彼らと緒に仕事で

探してみたが、恩地さんからの手紙は葉書が二枚しか出てこなかった。一枚は年賀状。一枚が川端康成の「伊豆の踊子」ハードカバーの表紙を図案化した絵ハガキである。

こんな絵葉書ももらいました。誰れに出そうか考えたら何故か大兄の顔がうかびました。一度会いたいです。時間をつくってください。消印は、9.10.33と読める。とすると、平成六年、恩地さんが六十一歳、わたしが五十六歳のときのことだ。作品歴を見てみると、この年めばしい作品は見あたらないし、還暦をすぎていくらか人恋しい気持ちがあったのかもしれない。何枚の「踊子」絵ハガキを手に入れたのかは知らないが、その中の一枚をわたしに送ってくださいました。と思うとやはりうれしい。

晩年も同じようにつき合いは続いたが、東映アニメーションの社長、会長を歴任された泊 懋さんと二緒することが増えた。泊さんはわたしが大学卒業後就職した映画会社の同じ課の上司で、この何十年かは開基の好敵手でもある。恩地さんは碁を打たなかったが、泊さんと大学の同窓で、就職浪人しそだった泊さんの就職論文作成の手助けをされたそう、泊さんは恩地さんの前では謙虚だった。「息子のやっている魚料理店がけっこう旨い」恩地さんが遠慮がちにもらされるのを聞いて、中目黒の「魚哲」を3人で訪ねたこともある。最後の本編は江戸時代の老人を描いた「蕨野行」（平成十五年）。「死にゆくための民主主義」とキャプションがついている。恩地監督の青春映画のもう一方の代表作だ。昨年暮、年が明けたら泊さんと三人で鰻を食へ、いく約束をしていたのに、それは果たせず終いになった。



著者略歴  
植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年『直木三十五伝』で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年『歴史の教師植村清二』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の岬』『気骨の人 城山三郎』など。





## 惣 common (ソウ コモン)

神奈川県鎌倉市鎌倉山2-19-31

TEL : 0467-80-2736

営業時間 : 10:00~日没

火・水曜定休

※暖簾がかかっていたら営業中

HP : <http://so-common.com>



## 四季折々の自然のなかで読書を楽しめるブックカフェ

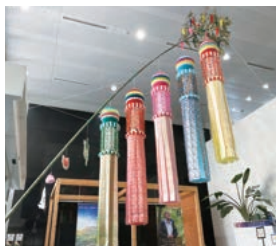
鎌倉の別荘地として開発され、政財界の要人や作家など多くの著名人が居を構えた鎌倉山。この豊かな自然と上品な雰囲気漂う邸宅街に佇むブックカフェが「惣 common」です。2021年5月のオープン以来、地元・鎌倉を中心に多くの読書家に愛される理由のひとつが、その贅沢な環境にあります。ピアノの独奏が静かに流れる店内はほどよい距離感が保てるようにレイアウトされ、鎌倉の自然をパノラマで楽しめるカウンター席や、窓からの景色が美しい小上がりになったソファ席などが用意されています。なかでも晴れの日におすすめなのが、約300坪の竹林に張り出したウッドデッキ。都会の喧騒とは無縁の静かな時間が流れる空間では、清涼感のある竹の葉の揺れる音や鳥のさえずり、木々を走り回るリスたちの姿が寛ぎのひとつを演出してくれます。

「地元の人が集まる場所をつくりたいという思いでこの店をはじめました」。そう話すのはオーナーの鳥野仁さん。「コミュニケーションをつくるうえで、本はとても有効なツール。SDGsを意識した本をそろえることで、関心のある方々が集まるきっかけになればという思いがありました」。本棚を見ると、「未来のコミュニティ」「環境問題を真剣に」「食と生物の連鎖」など、持続可能なライフスタイルに関連したタイトルが並んでいます。「でも、蔵書はこの店を利用する方々によって変わっていくものだし、最終的にはお客さんが読みたい本が集まればいいなと思っています」と鳥野さん。また、本棚の一部には個人が所有する書籍を集めたミニ文庫コーナーも。「大学を退官された海外文学の先生などからお預かりした本を陳列しています。1冊1冊の本も興味深いです。本棚にするとその人の人生やものの考え方がわかる楽しさがあります」（鳥野さん）。

また、ユニークな取り組みとして注目したいのが、店舗独自の買い取り制度。「うちで購入した本であれば、読み終えたあと現金なら本体価格の7割（店舗独自のポイントなら8割）で買い取りさせていただいています。これは、個人宅で眠ったままになりがちな本を循環させることで、できるだけ多くの方と共有したいという思いからはじめたもの。本の場合、中古本と新書本といってもその中身に差があるわけではないですし、自動車のように新古価格のバランスが取れているとはいい難い。だったらこの店の考え方に賛同してくれるお客さまのなかで、世間一般の中古市場とは切り離れた新しいやり方を試してみようと思ったんです」（鳥野さん）。新しい業態のブックストアへの挑戦のほか、地域住民の交流を促進するための各種イベントなど、独自のコミュニティを提案する「惣 common」。鎌倉散策の途中に、ぜひ一度立ち寄ってみてください。

## TOPICS

国際紙パルプ商事の当社1Fエントランスに、当社グループ会社の鳴海屋紙商事により制作された仙台七夕飾りを8月末まで展示中です。詳細は、当社コーポレートサイトにてご確認ください。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP & PAPER CO., LTD.

発行元：コーポレート・コミュニケーション室  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL：03-3542-4111（代）  
HP：<https://www.kppc.co.jp>

### 「TSUNAGU」Vol. 51 使用紙：

ミューマツ（127.9g/m<sup>2</sup>/北越コーポレーション株式会社）  
しなやかなボリューム感と滑らかな面感。乾燥性と印刷作業適性に優れたマツコート紙です。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインクを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。